

防災

平成16年9月の台風21号で増水した千代川
写真提供：国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所



平成7年1月の阪神・淡路大震災で崩壊した家屋
写真提供：鳥取県東部広域行政管理組合

災害に備える。

大切な人と地域を守るために

地震、風水害、土砂崩れなどは、人間の努力では、押さえ込むことのできない自然現象にともなう災害です。こういった自然災害は、いつ起こるかわかりません。そのため、災害に対して、「いつやってくるかわかりませんが大丈夫」といった積極的な姿勢が必要です。

本市では、このたびの合併による市域の拡大にともない、防災体制の拡充と併せ、「鳥取市地域防災計画」を策定しました。大切な人を、そして大切な地域を守るために、家庭や地域で防災について話し合い、災害に備えるとともに、出水期を控え、今、何をしなければいけないのかを考えてみましょう。

用語確認!

避難などの参考になる河川の水位を次のように設定しています。

- 警戒水位 避難準備開始、災害時要援護者は避難行動開始（避難支援者は支援行動開始）の参考になる水位
- 特別警戒水位 避難行動開始の参考になる水位
- 危険水位 避難行動完了などの参考になる水位

風水害に備える。

「気象状況に注意し、早めの対応を」

強風や大雨による災害および洪水、高潮、波浪による災害が複合して起こる災害を風水害といえます。また、暴風や大雨はある程度、到来時期や規模を予測することができませんが、集中豪雨のように予測の難しいものもありますので、注意が必要です。

気象状況は刻々と変化していきます。正しい情報に基づき早めの対応を心がけましょう。家族や地域で協力し合い、対応することが災害の抑制につながります。

土砂災害に気を付けよう

がけ崩れ、土石流、地すべりなどの土砂災害は、地震や梅雨・台風などの豪雨で地盤がゆるむことによって発生します。

また、雨量が多くなるほど発生しやすくなるため、梅雨や台風の時期は十分な警戒が必要です。日ごろからこのような災害

問い合わせ先

市役所本庁舎危機管理課

☎(0857)20-3127